

総合資源エネルギー調査会  
長期エネルギー需給見通し小委員会（第2回会合）  
議事概要

日時：平成27年2月13日（金）10:00～12:00

場所：経済産業省本館17階 国際会議室

議題：長期エネルギー需給見通しの検討について

出席者：

坂根正弘委員長（小松製作所（株）相談役）

伊藤麻美委員（日本電鍍工業（株）代表取締役）

柏木孝夫委員（東京工業大学特命教授）

河野康子委員（（一社）全国消費者団体連絡会事務局長）

小山 堅委員（（一財）日本エネルギー経済研究所常務理事）

高橋恭平委員（昭和電工（株）代表取締役会長）

中上英俊委員（（株）住環境計画研究所代表取締役会長）

野村浩二委員（慶応義塾大学産業研究所准教授）

増田寛也委員（野村総合研究所顧問、東京大学公共政策大学院客員教授）

欠席者：

橘川武郎委員（一橋大学大学院商学研究科教授）

高村ゆかり委員（名古屋大学大学院環境学研究科教授）

安井 至委員（（独）製品評価技術基盤機構理事長）

山地憲治委員（地球環境産業技術研究機構理事・研究所長）

山名 元委員（京都大学原子炉実験所教授）

## 経済産業省

上田資源エネルギー庁長官、高橋資源エネルギー庁次長、吉野大臣官房審議官、住田資源・燃料部長、多田電力・ガス事業部長、松尾総合政策課長、片岡大臣官房参事官、高科省エネルギー・新エネルギー一部政策課長、辻本省エネルギー対策課長

## 内閣官房

吉川副長官補室参事官

## 内閣府

吉永政策統括官（経済社会システム担当）付企画官（社会基盤担当）

## 外務省

佐藤経済局審議官

## 文科省

原環境エネルギー課長

## 国交省

長谷地球環境政策室長

## 環境省

瀧口低炭素社会推進室長

## 長期エネルギー需給見通し小委員会（第2回会合） 議事概要

1. 3Eに関する御意見の整理と主な検討課題について事務局から説明。
2. エネルギー需給見通し策定に関する基礎資料について事務局より説明。
3. シャープ（株）、アズビル（株）から省エネルギーの取組について紹介。
4. 省エネルギー小委員会の検討状況について報告。
5. 委員からの主な意見は以下のとおり。

### <3Eに関する御意見の整理と主な検討課題についての御意見>

- 固定価格買取制度の再生可能エネルギー賦課金のみならず、電気料金上昇の要因として燃料費の増大や消費増税など他の要素についても示すことが必要。
- 自給率は震災前の2割を超えてさらに改善することが必要。
- 産業界にとってエネルギーコストの抑制は重要。極力、震災前の水準に戻すことを追求すべき。
- 省エネや再エネは電気と熱の両方にまたがる議論。電気だけでなく、熱についてもしっかりと議論をしてほしい。

### <需要見通し、省エネルギーについての御意見>

- 2005年以降、GDPは伸びているがエネルギー需要は減少しており、今後ともこのトレンドが続くと見るべきという意見がある一方、震災以降のエネルギー需要の減少は将来に行われる省エネを先取りしている可能性もあり今後も同じ水準の省エネが継続するとは言えないので、今後のエネルギー需要についてはしっかりと検証を行う必要がある。
- 省エネは徹底的に行う必要があるが、費用対効果の観点も踏まえながら、実現可能な省エネの姿を描いていく必要がある。
- 中小企業に省エネポテンシャルがあるが、体力のない企業において、投資を伴う省エネを進めていくことが難しいのも事実。
- デマンドリスポンスなど、新しい需要の在り方について検討する必要がある。
  
- 省エネ対策やその効果については、省エネルギー小委員会において具体的な検討を深め、長期エネルギー需給見通し小委員会に報告することとなった。

(以上)